

## ● 実験教室

## おどる う～ちゃん

低学年の児童にとって、自分で簡単に作ることができて、しかも遊んで楽しいのは、大変魅力的なものである。その一つとして「おどる う～ちゃん」を紹介する。

## 1 しくみ

画用紙を丸めた筒に口を当てて声を出すことで、紙コップの上に置いたモール（ヘビ）が、くるくると回転する。

声を出すことで紙コップの底に振動が伝わり、その振動がモールに伝わって、モールがユニークな動きをする。声の大きさや高低、または「あー」「うー」「おー」などの言葉によって、回転の仕方がいろいろと変化する。慣れてくると、速く回したりゆっくり回したりと、思い通りに動かすことができる。

## 2 準備物

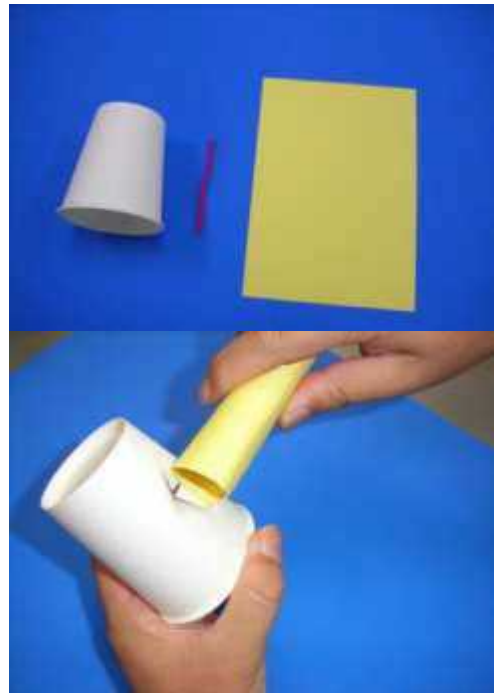
- ① 紙コップ（200ml）
  - ② モール（4mm×8cm）
  - ③ 画用紙（B6サイズ→17cm×12cm位）
- 以上の3点の大きさや長さは、あくまでも目安である。  
身近にあるものでよい。
- ④ カッター

## 3 作り方

- ① 紙コップの横に、カッターで「十字」の切れ目を入れる。大きさは、直径3cm～4cm位が望ましい。低学年の児童にとっては難しいので、事前に教師が切れ目を入れておくとよい。
- ② 画用紙を丸めて、カッターの切れ目の穴に入れる。この時、最初は細く丸めて、紙コップに入れた後、口に当てる部分を広げるようにするとよい。
- ③ モールを指に巻いて、丸くする。それを紙コップに置くときは、倒れないように下の部分を広げるようにする。

## 4 遊び方

- ① 紙コップを机に置き、軽く手で押さえる。
- ② 画用紙の筒に口を当て、いろいろな声を出す。声の出し方によって、まわる速さが変わる。友達と見せ合いながら、ユニークな動きを楽しむ。



※ 何回も遊んでいると、画用紙がぬれてしまう時がある。その時は画用紙だけ交換する。